西区の西 堺市議会議員「西てつし」市政報告

2021年 秋号

コロナ禍の中で

２年連続堺市議会の**議会運営委員会副委員長**として、議会四役の一角を担わせていただき、連日議会での様々な調整に関わらせていただいています。あわせて、本年度は、**健康福祉委員会委員、危機に強い安心社会実現調査特別委員会委員、堺市内バス運行連絡会委員、「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会理事**の任をいただいています。堺市青少年指導員会連絡協議会理事として派遣される、**堺市安全まちづくり会議委員**とあわせて積極的な発言や提言、議論に努めていきます。

ワクチン接種トラブル頻発への対応や接種のスピードアップについて様々な提案や議論をしていますが、あわせて、飲食業をはじめ、学校現場や子育て環境、産業環境等にも様々な影響が及んでいる中、市民の皆さんからいただく一つ一つのご相談の課題解決にあたる日々です。

実際、コロナ禍以前とは全く違う様々な変化が堺市内でも表れていますが、そのような状況下で、堺市政がいかに市民の生活に寄り添っていくか、そして堺の将来をどのように見据えて政策を実施していくかが問われていると考えています。しかしながら、コロナ禍への対応についての「政令指定都市 堺」のパワーを活かした主体的な取り組みが殆ど見えず、財政危機を唱えて、子育てや高齢者の皆さんの安心の支援等の様々な生活に関わる予算をカットする一方、ベイエリア開発をはじめとした不要不急の開発を急いで実施していこうという永藤市政の姿勢には違和感があります。予算提出権は市長にしかないので非常にもどかしい部分もありますが、予算の使い方や執行状況について議員として引き続きチェックしていきます。ご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いいたします。

堺市議会議員 西 哲史

議員在職10年

表彰状

堺市 西 哲史 殿

あなたは市議会議員としてその市政の健全に努められたその功績は著しいものがありますので第八十七回定期総会にあたり永年表彰致します

令和二年五月二十六日

全国市議会議長会 会長 清水富雄

本年5月の全国市議会議長会総会において、議員在職10年の表彰が決定され、7月に議長から伝達していただきました。これもひとえに、多くの市民の皆様からの温かいご指導ご鞭撻の賜物です。

政治家の息子でもなく政治家の秘書出身でもなくサラリーマン出身として、政治を変えたい、と志をたて政治の世界に飛び込んで早１４年。堺生まれ堺育ちとして、未来を見据えながら、堺を元気にするために政策を提案し議論を進めてきました。西区各地の地域整備課題、津久野駅前のまちづくり、子育て支援、環境問題の取組、行財政改革、シティプロモーション、公共交通の発展、自転車のまちづくり、災害に強いまちづくり等の様々な課題に、多くの市民の皆さんと一緒に取り組み、ほぼ全ての定例会で発言・質問し、２期目では西区の議員の中で質問回数1位となりました。市民の皆さんへの感謝を胸に、引き続き、堺の発展の為に取り組んでいく所存です。「政治を変える挑戦」の記録として、ホームページ（https://nishitetsu.net）に過去の議事録や動画を掲載していますのでご覧いただけたら幸いです。

プロフィール 西てつし（44歳）

よく聞かれますが、親は政治家ではありません。サラリーマン出身です。政治家の秘書から政治の世界に飛び込んだわけでもありません。

1977年 堺市内にて生まれる
1990年 堺市立平岡小卒
1993年 堺市立上野芝中卒
1996年 大阪府立三国丘高卒
2001年 関西学院大学総合政策学部卒
2003年 慶應義塾大学大学院 政策メディア研究科修士課程修了
2003年 株式会社博報堂入社（06年退職）
2007年 堺市議会議員に当選（1期目）
2012年 関西学院大学講師（13年迄）
2015年 堺市議会議員に当選（2期目）
2019年 堺市議会議員に当選（3期目）

現在
- 市議会運営委員会副委員長
- 健康福祉委員会委員
- 危機に強い安心社会実現調査特別委員会委員
- 堺市内バス運行連絡会委員
- 「交通事故をなくす運動」堺市推進協議会理事

声援カンパで私の政治活動の支援をお願いいたします。

これまで政治をゆがめてきた、しがらみだらけの企業献金や資金パーティと一線を画すために、「西てつし」声援カンパにご協力をいただければ幸いです。

- 郵便振替口座番号 00920-1-328661
- 口座名称 西てつしと共に歩む1000人委員会
- 声援カンパ 一口 2,000円（何口でも結構です）

大綱質疑

2月26日、8月31日の「大綱質疑」で、会派「堺創志会」を代表し
堺市政各般にわたって議論を行いました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

行財政改革について（2月）

西質問　組織改編の中心的取組として示された市政集中改革室の設置趣旨とは。

→**局長答弁**　期間を区切って抜本的な見直しに注力することを目指す。

→**西要望**　期限を切るのは正しいことのように見えるが、行政改革は短期でやるものではなく継続的な不断の取り組みでなければならない。

西質問　今年度予算説明の象徴的な項目として「ゼロ予算事業の実施」が発表されたが、人件費についてはどうなっているか。

→**局長答弁**　人件費は発生しているが、新たな予算措置を伴わない事業として位置付けている。

→**西要望**　人件費がかかっていることを考慮にいれないと真の改革とは逆行になる。フルコストの観点をしっかりと持ってほしい。

西質問　大阪観光局に**堺市は4000万円支出する**が政策の効果指標はあるのか。

→**局長答弁**　インバウンドをはじめとした堺市への来訪者や観光消費額などの増加が期待でき、それらの事業を評価する指標になる。具体的な効果の把握は難しい。

→**西要望**　効果指標はないという答弁だが、しっかりと指標をもった予算支出を求める。

SDGsについて（2月）

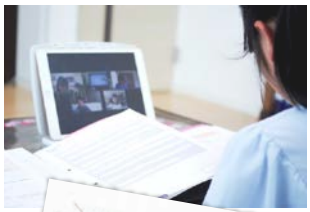
西質問　堺市SDGs未来都市計画で、「経済」「社会」「環境」の3項目のあるべき姿が示されているが、環境の項目の中に「経済と調和した環境先進都市」とあり、「経済」が強調されている。3項目バランスよく統合されているのがSDGsではないか。

→**局長答弁**　経済と環境は利益相反が生まれやすいため、今回のような表現となっている。

→**西要望**　「経済と環境は相関性が強く、利益相反が生まれやすい。」という議論は古い議論。経済政策として環境への取り組みを進めている北九州市等先進的自治体もある。バランスのよい取り組みをすすめてほしい。

SDGs

児童・生徒用のパソコンの活用について（2月）



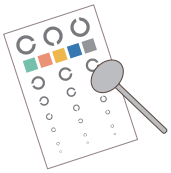
西質問　一人一端末で学習に活用するとしているが、台湾やシンガポールでは当然のように視力低下対策がセットになっているがどのようにしているのか。

→**教育監答弁**　子どもの視力等への影響などに配慮した留意事項について学校向け活用マニュアルへの記載ができていない。今後学校で子どもの健康に配慮した活用ができるよう示していく。

→**西質問**　文科省のマニュアルにある、黒カーテンは当然各使用教室にあるのか。

→**教育監答弁**　一部教室にとどまっている。

→**西要望**　黒カーテンのみならず、様々な子ども達の視力対策ができていない。端末を学習に活用するなら、当然視力対策についてもセットで行っていくことを求める。



ESG（経済・社会・環境）について（8月）

地元の伝統工芸品「注染･和晒」を着用して質疑

西質問　2050年カーボンニュートラルに向けて、政府は2030年の二酸化炭素削減目標を変更したが、堺市も変更すべき。

→**局長答弁**　**2030年の削減目標を変更する。**

西質問　サプライチェーン全体での二酸化炭素排出量測定や削減を求める取組（Scope3）が急速に拡大している。環境と成長の好循環を生み出すために、SBTやScope3の周知を図るべきでは。

→**局長答弁**　脱炭素経営は、中小企業にとってコスト削減やCSRではなく経営戦略と認識。

→**局長答弁**　**市内産業の持続的な発展に向けて、情報共有に加え取組を支援する。**

友好都市交流について（8月）

西質問　堺市は国内に3都市（種子島、東吉野村、田辺市）、海外で4市（バークレー市、連雲港市、ウェリントン市、ダナン市）友好都市があるが、抱える都市課題や解決策を互いに共有し、友好親善にとどまらない新たな交流・連携をするべきと考えるが。

→**局長答弁**　ウェリントン市とは首長同士のウェブ対談を実施し両都市間の課題について意見交換を行った。分野ごとの交流を推進し、**相互にメリットを享受し、それぞれの特性を生かした都市魅力の向上やSDGs達成への貢献につなげていく。**

西質問　副市長から昨年、Jクレジットを活用した友好都市との連携を進めるとの答弁があったが進捗状況は。

→**副市長答弁**　現状では具体化に至っていないが、温暖化対策実行計画の目標の実現に向け、都市間連携を位置付けていく。

学力向上について（8月）

西質問　全国学力状況調査の平均値を学力向上の指標に位置付けることは限界があるのでは。

→**教育監答弁**　一定必要ではあるが、課題がある。

→**西質問**　課題に対応するため埼玉の事例等を挙げてきたが進捗は。

→**教育監答弁**　埼玉県の手法を活用した調査を実施した。**調査結果分析に基づく取組を推進し、個人及び集団の学力を伸ばしていく。**

携帯電話基地局について（8月）

西質問　携帯電話基地局建設にあたっては、健康への不安を訴える方や景観影響を訴える市民の方もいる。全国には説明を尽くす条例もあるが市の対応が必要では。

→**局長答弁**　国に対して、近隣住民に対して丁寧な説明を事業者に指導されるよう要望した。**あわせて近隣住民への説明を徹底できる方法について研究する。**

その他「LINEアカウントの乱立による無駄遣い」（2月）「アートクラブグランプリ」（2月）「気候非常事態宣言」（2月）「区政策会議と住民自治」（2月）「公民連携」（8月）「男女共同参画」（8月）「学校教育ICT化推進事業」（8月）「不祥事の再発防止策」（8月）について取り上げました。
詳細は議事録を読んでいただけると幸いです。

予算審査特別委員会分科会

予算審査特別委員会において、3月8日（建設委員会所管事項）、3月9日（総務財政委員会所管事項）と質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約

津久野駅再開発と都市機能について

西質問　津久野駅周辺のまちづくりについて令和３年度の取り組みについて示されたい。

→**参事答弁**　令和３年度は地元主体による市街地再整備をめざし、合意形成、活動支援など、事業化に向けた検討を予定している。あわせて都市再開発方針の２号地区として指定を進める。地元組織（津久野駅前プロジェクト協議会）主体の活動を支援する。

→**西質問**　津久野駅周辺、どのように魅力をつくっていくかについて示されたい。

→**参事答弁**　都市計画マスタープランにおいて、「買物などの日常の利便に供する商業・サービスなどの機能の充実を図っていく」となっており、地元アンケートでも、「日常生活で利用する飲食、買物ができる店舗、憩いの場が求められている」という結果が出ている。これらを踏まえて検討する。

→**西要望**　市民の意見を積極的に取り入れてほしい。新しい時代にあわせた都市機能の充実を求める。

自転車通行帯について

西質問　旧第一ホテル跡の自転車博物館整備や大和川での賑わい拠点づくり等が行われる関係で、堺東駅から大和川まで自転車の走行環境整備が注目される。しかしながら、堺東駅南口交差点からバス停連続区間の間が自転車と歩行者が輻輳している。どうするのか。

→**課長答弁**　交通管理者との協議により、自転車の通行位置を示す青色矢羽根路面表示はせず、バス停注意の路面表示と自転車利用者にバス停が連続することを注意喚起する看板を設置する整備を行う。

→**西要望**　世田谷等のバス通行量が堺東より多い区間においても、自転車は車道通行を明示されている。しっかりと整備をされたい。

→**局長答弁**　**自転車は車道という大原則にのっとって、自転車のまち堺の日本一だというようなことを標榜するため、何とかこういう大きな課題を突破していきたい。**

戦略的広報について（指標とカスタマージャーニー）

西質問　市外での広報の政策効果を図る指標がLINEとTwitterの登録者数で量ることになっている。市民の登録者と合算される中で効果的な指標とはいえないと思うが見解を問う。

→**課長答弁**　施策を効果的、効率的に推進するためにも、エビデンスに基づいた評価は重要であると考えており、**本市の都市イメージ等のアンケート調査をターゲットに応じて定期的に実施することを検討する。**

西質問　（マーケティングの現場で求められる）カスタマージャーニーの整理の方法を、市の様々な施策の広報について活かすことを検討していくべきではないか。

→**課長答弁**　カスタマージャーニーの考え方を用いて整理をすることで、より効果的、効率的な広報が可能になる。**戦略的広報の運用マニュアルに取り入れることを検討する。また職員研修においても、この考え方を含めていく。**

その他「上下水道局の予算書を見やすくする」「公募区長」について取り上げました。詳細は議事録をよんでいただけると幸いです。

健康福祉委員会

健康福祉委員会において、3月22日、6月15日と質疑しました。

●発言録や動画は、https://nishitetsu.net/category/assemblyrecord にてご覧いただけます。

●発言抜粋・要約〈3月22日〉

摂食嚥下と口腔衛生管理について

西質問　口腔衛生のみならず機能維持も、市民の健康の為には重要になる。厚労省も機能に重心を移すといっている中、介護保険施設に対して、歯科検診の受診率向上を求めていくと共に、維持していくためのフォローアップをしていく必要があるのではないか。

→**課長答弁** **口腔衛生の管理は、入所者の健康維持の為だけではなく、摂食嚥下機能の維持向上にもつながり重要。**国の介護報酬改定で、口腔衛生の管理を充実する観点で様々な改定が行われた内容について、**市内すべての介護保険施設や事業所に周知していく。また、取組状況についても実態の把握をしていく。**

グループホームについて

西質問　障がい者グループホームは、まだまだ不足している。手厚い支援を求める。

→**課長答弁**　医療的ケアを必要とする重度障がい者への支援体制の拡充を図る為、**補助対象に看護を有する生活支援員の加配に要する経費を追加して予算計上する。**さらにグループホームの量的拡大と機能強化に取り組む。

→**西要望**　重度だけに偏ることなく取組を進めることを求める。あわせて、障がい者グループホームの設置について地域の理解を深められるように庁内の広報や開発担当とも連携することを求める。

難病患者就労支援事業について

西質問　難病患者さんの就労支援については、機関紙の内容は素晴らしいが、もう少し広報のタイミングや方法について研究すべきではないか。

→**課長答弁**　**ニーズに応じた情報提供を行うと共に、適切なタイミングで効果的かつきめ細やかな支援を実施できるように取り組む。**

→**西要望**　難病について市民理解を拡げるような取組も求める。

保育施設入所に関する利用調整について

西質問　長年の取組によって待機児童ゼロが実現できたが、兄弟で別々の保育園に入所せざるを得ない場合があり負担がとても大きい。兄弟での同一施設入所希望への対応を求める。

→**課長答弁**　保護者の負担軽減、満足度の向上、保育の質向上については重要ポイントと認識。**兄弟同一施設への入所申し込みに対する利用調整も検討していく。**

東吉野ふるさと村について

西質問　津久野の旧下水処理場に、蛍を提供していただいたことをきっかけとしてはじまった東吉野村との友好都市関係の中心である、東吉野キャンプ場や東吉野ふるさと村事業は多くの市民が関わってきた。どのように評価しているか。

→**課長答弁**　自然豊かな環境での野外活動体験を通しまして、堺の青少年の健全育成に資する事業として評価してきたが、現在、運営負担金を支出することの効果や妥当性について検討している。

→**西要望**　何度も（私から）提案しても利用促進に向けての努力がされていない中で妥当性等といわれても説得力がない。青少年健全育成や堺の子ども達にとっての田舎づくり、友好都市連携の基本である人的交流の根幹等といった価値を再度認識してほしい。

その他「ペット遺体の尊厳ある取り扱い方について」「介護事業者と嚥下について」「生活困窮者対策の広報の仕方」「緊急一時保育の広報拡充」「小規模保育事業への支援」について取り上げました。
詳細は議事録をよんでいただけると幸いです。

最近の出来事

津久野幼稚園が研究実践園として存続

平成19年に「公立幼稚園の廃止方針」が示され、その後「準備が整ったところから、順次廃園」という計画になり、津久野幼稚園の存続も危機的状況となっていました。そこで、公立幼稚園（旧平岡幼稚園）出身者として、西区で唯一の公立幼稚園となった津久野幼稚園が地域の方々の寄付や支援によって設立された経緯や、公立幼稚園を残すことの重要性等について、平成30年6月の本会議等で取り上げ議論を行いました。昨年策定された「堺市幼児教育基本方針改定版」によって、2023年から堺市の公立幼稚園の一部が残念ながら廃園されることになったものの、地元西区の堺市立津久野幼稚園は廃園の危機から脱し、研究実践園として存続することになりました。

マイクロプラスチックの調査

マイクロプラスチック問題について、堺市は、啓発イベント実施やリユース食器の普及に令和2年度予算をつけたものの、どういった製品・用途のプラスチックがどのように流出するかの実態解明がなされていないことが議会質疑で明らかになりました。そこで、昨春の委員会で調査実施を要望し、日本財団の流出実態調査に堺市は応募しました。本年春の日本財団の発表によると、大和川河口で高濃度のプラスチックの存在が確認され、グラウンドの人工芝や足ふきマット、徐放性肥料の成分が多く発見されました。これに基づいて、何をどのように対策をするかの議論が必要です。引き続き注視していきます。

石津川流域（石津川・百済川等）の浸水想定区域

近年、集中豪雨等により全国的に短時間での河川の増水や、堤防が決壊する事例も増え、ハザードマップの充実や周知は急務です。平成27年の水防法改正で、新しい浸水想定をすることが求められていたにも関わらず、石津川流域（石津川・百済川等）では浸水想定が公表されておらず、それに伴いハザードマップも更新されていなかった為、昨年3月の予算審査委員会分科会で、速やかな想定の公表とハザードマップの更新を求めました。本年、石津川水系の浸水想定区域が見直され、6月から新しいハザードマップの配布が始まりました。引き続き、ハザードマップの周知拡大や使いやすさについて議論をしていきます。

お墓の承継と合葬式墓地について

少子高齢化の中、お墓を継承していく方が同じ地域に居住しないことも多くなり、選択肢として合葬式墓地への関心が高まってきている事が様々な調査や報道で明らかになっています。実際、昨年春の時点で政令指定都市20市中15市において合葬式墓地の整備が行われていました。そのような中、堺市営墓地での合葬式墓地の設置の検討の議論が進んでいない事を、昨年3月の予算審査委員会分科会で取り上げ、スピードアップを求めました。その結果、今年度、合葬式墓地など時代ニーズに応じた新たな墓地形態の導入について検討する予算が計上され、墓地の在り方についての検討がはじまっています。

歯科口腔保健推進条例

口の健康が全身の健康と関わるとの学説が多数発表される中、堺市民が、健康で一生自分の歯で噛める喜びや話す幸せを持ち続け、豊かで充実した生活が実感できるように取組を進める事を規定した「堺市歯科口腔保健推進条例」が、本年3月議員提案による全会一致で成立しました。この条例は、一部自治体を参考に、先進的な内容で条例を制定しようと数年前から「堺創志会」「公明党」「自民党」の超党派議員で作業チームを形成し、歯科医師会の先生方とも意見交換しながら作業してきたものです。6年前の公約に記載し、作業チーム副座長として関わっていただけに、条例制定を実現できてほっとしています。

コロナワクチン接種効率化（企業ノウハウ）

8月12日朝刊に「ミスない接種　企業の知見～堺市再発防止協力依頼～」との記事が掲載されました。堺市で相次いだワクチン接種トラブルの再発防止や、接種スピードアップの為、堺に拠点を置く企業のノウハウを活かすべきと考え、各方面に提案した結果「クボタ」「シマノ」の工程管理担当者に協力して頂き、記事になりました。医療従事者の方々や市職員とは違った視点での専門家の知見は有意義と考え提案したことが形となり、公民連携のモデルとなりました。何より堺市民の方々にとって、トラブル再発防止や接種スピードアップに繋がったということは素晴らしい事です。各方面の関係者のご尽力に感謝申し上げます。

ミスない接種 企業の知見
堺市再発防止 協力依頼
運営に工程管理ノウハウ
ICTで冷蔵庫 温度監視

整備案件

自治会役員の皆様や「好きやねん津久野」、担当課をはじめとした様々な皆さんのご協力を得ながら地域の安全なまちづくりについて頂いた要望の実現に努めることができました。

右記以外にも実現途中のものがありますので引き続き実現に努めます。（五十音順）

◎上野芝小学校区神之橋信号設置
◎上野芝町4丁泉北1号線歩道舗装整備
◎家原寺町2丁道路舗装復旧
◎家原大池公園遊具リニューアル
◎津久野駅西口ロータリー再整備
◎堀上緑町1丁道路舗装復旧

市政に関するご意見をお寄せください。
西てつし　市政相談所
〒593-8322　堺市西区津久野町1-1-1-2F
TEL.072-260-1977 FAX.072-260-1978
E-mail : info@nishitetsu.net　Twitter : @nishitetsu1977
http：//www.nishitetsu.net